

2021年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪急電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	717	百万円
--------	-----	-----

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	0 駅	0 番線	
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリースイッチ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	0 編成	0 両	
その他		駅	
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	0	百万円	
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	0	0	0
備考			

本年度までの累計整備費	717	百万円
本年度までの累計徴収額	0	百万円

2021年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		0 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線		0 百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		0 百万円
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
車両のフリースペース	0 編成	0 両		0 百万円
その他		0 駅		0 百万円
備考				
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		0 百万円
エレベーター	3 駅	5 基	【新規】小林・宝塚南口・蛸池	185 百万円
エスカレーター	3 駅	8 基	【新規】川西能勢口・山本・高槻市	212 百万円
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
車両	0 編成	0 両		0 百万円
その他		1 駅	【新規】中山観音	2 百万円
備考	【その他の内容】 ・中山観音：エレベーターへの遠隔監視装置設置			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費		318	百万円※	
収受システム改修費		0	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		0	百万円	
備考	※ホームドア・エレベーター・エスカレーター・点状ブロックの維持管理			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2022年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪急電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	1,059	百万円
--------	-------	-----

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	0 駅	0 番線	
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	0 編成	0 両	
その他	0	駅	
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	0	百万円	
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	0	0	0
備考			

本年度までの累計整備費	1,776	百万円
本年度までの累計徴収額	0	百万円

2022年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	3 駅	8 番線	【新規】六甲・石橋阪大前・桂	85 百万円
固定式ホーム柵	4 駅	7 番線	【新規】伊丹・新伊丹・稲野・塚口	91 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線		0 百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		0 百万円
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
車両のフリースペース	0 編成	0 両		0 百万円
その他	各 駅			43 百万円
備考	ホームドア整備については、六甲駅におけるホーム上への設計業務を、石橋阪大前駅と桂駅においては、本線におけるホームドア設置の設計業務を実施。固定式ホーム柵については、上記駅における設計業務および伊丹駅におけるホーム補強等を実施。その他、ホームドア監視システムを導入し、遠隔監視できる仕組みを構築。			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		0 百万円
エレベーター	3 駅	5 基	【新規】蛍池・上新庄・豊中	205 百万円
エスカレーター	2 駅	4 基	【新規】山本 【継続】川西能勢口	73 百万円
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
車両	0 編成	0 両		0 百万円
その他	駅		【新規】三国・甲東園・南千里・淡路・雲雀丘花屋敷・石橋阪大前・烏丸	16 百万円
備考	その他 構内エスカレーター緩停止機能付加工事（三国） EV停止検知装置導入（甲東園、三国、雲雀丘花屋敷、南千里、淡路） 点状ブロックの更新（石橋阪大前、雲雀丘花屋敷、烏丸）			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費		312	百万円※	
収受システム改修費		49	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		185	百万円	
備考	※ホームドア・エレベーター・エスカレーター・点状ブロックの維持管理			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	12番線	50%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	12番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	24番線	100%	0駅	—	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	16番線	11%	0駅	0%	0駅	0%
2027年度	16番線	22%	0駅	0%	0駅	0%
2028年度	16番線	34%	0駅	0%	0駅	0%
2029年度	15番線	44%	1駅	100%	0駅	0%
2030年度	16番線	55%	0駅	100%	0駅	0%
2031年度	20番線	69%	0駅	100%	0駅	0%
2032年度	16番線	80%	0駅	100%	0駅	0%
2033年度	14番線	90%	0駅	100%	0駅	0%

2034年度	8番線	96%	0駅	100%	0駅	0%
2035年度	6番線	100%	0駅	100%	0駅	0%
累計	143番線	100%	1駅	100%	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
桂駅ホームドア整備事業 (桂駅1~4番線)	当社線の車両条件に適応し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	4 百万円
六甲駅ホームドア整備事業 (六甲駅1・4番線)	当社線の車両条件に適応し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	8 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。